



八戸高専だより

第162号

令和4年8月

独立行政法人 国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校 発行

〒039-1192 青森県八戸市田面木字上野平16番地1

TEL 0178-27-7223 (総務係)

FAX 0178-27-9379

E-mail somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

URL <https://www.hachinohe-ct.ac.jp/>



目

次

夜明けはもうすぐ	1	国際交流・グローバルエンジニア育成に向けて	15
3主事から	2	キャリア教育・学習支援センターから	16
新入生紹介	3	図書館の今年度の予定	17
1学年主任から	7	就職・進学状況について	18
夏学期授業参観を終えて	7	学生表彰	19
専攻科新入生紹介	8	東北地区高等専門学校体育大会結果一覧	20
今年の編入生・留学生紹介	9	「保護者の声」設置について	23
新任教職員紹介	11	授業料等の納付について	23
北辰寮より	13	学生課学生係からのお知らせ	23
相談室から	14	令和4年度 公開講座	23

夜明けはもうすぐ



八戸工業高等専門学校長

圓山重直(まるやま しげなお)

令和2年から続いている新型コロナ禍もようやく出口が見え始めたようです。昨年度は、致死率の高いデルタ株の感染拡大のために、課外活動が大きく制約を受けました。東北地区高専大会や高校総体への出場ができないなど、学生諸君にはつらい思いをさせました。

6月21日には校内体育大会を3年ぶりで本格開催できました。お陰様で、好天に恵まれて皆さんが楽しく体育大会を実施できました。本校名物の応援合戦など、久しぶりに楽しそうにキラキラした学生の皆さんを見ることができて大変幸せでした。長く続いたコロナ禍の夜が終わり、ようやく夜明けが近づいてきているのかもしれない。

これからは、コロナと共存するニューノーマルな学校生活を作り上げていくことになると思います。しかし、本校で感染者が出た場合には、速やかに感染拡大防止措置を取り、学校活動への影響を最小限にしていきたいと思います。皆さんに感染疑いの症状が出た場合には、学校に報告して登校を控えるなど、協力をお願いします。

コロナ禍が落ち着いた後のニューノーマルな社会とはどのようなものでしょうか。遠隔授業やリモート会議は、これからも使用されると思います。本校でも、教員の会議や公欠学生への授業はリモートで行われています。国内・国際学会の多くは遠隔で実施されています。

しかし、コミュニケーションをとるためには、対面の授業や行事が重要であることに変わりはありません。

今年度から運用が始まっている混住型国際寮は、個室がありますが、その広さをわざと狭くして、皆さんが集うコモンスペースで日本人学生と留学生とがコミュニケーションをできるように設計されています。

これまで、寮は低学年寮と高学年寮に分かれていましたが、国際寮では低学年と高学年学生が一緒に生活し、コミュニケーションを取りながら寮のフロアごとに社会性を身に着ける運営としていきます。秋学期からは従来寮の運営も同様な方針で行うことを計画しています。

現在は核家族化が進み、学生が社会性やコミュニケーションを養うことが難しくなっています。寮生活を通じて後輩は先輩を見習い、先輩は後輩の手本となるように行動し、低学年生を指導しながら社会性を身に着けてほしいと考えています。

本校では、皆さんが「グローバルエンジニア」として世界で活躍できることを期待しています。そのために、いわゆる「KOSEN英語」を身に着けてほしいと考えています。KOSEN英語とは、文法や発音が十分でなくとも、専門力に裏付けられた英語で、外国人技術者や研究者とコミュニケーションを取れる英語力です。皆さんが将来コミュニケーションをとる相手は、英語を母国語としない外国人が多いのです。

英語コミュニケーション力向上のために、本校では、2年生から3年生への進級、4年生から5年生への進級および専攻科進学のために、一定以上の英語力を求めています。皆さんが、英語をしっかりと勉強してこれらの目標を達成することを期待しています。

コロナ禍が一段落したら、皆さんが獲得した英語力を駆使して、国際自主探究や海外研修など、海外に羽ばたいてほしいと考えています。今のうちに英語のコミュニケーション力をしっかりと身に着けておきましょう。

令和5年度入試から本校本科への入試制度が大きく変わります。国際的エンジニア育成特別選抜枠が新設され、早いうちに本校の入学が決まる生徒さんたちがいます。その方たちはプレ自主探究を行う予定なので、学生の皆さんのお手伝いをお願いします。

その他、推薦入試枠の拡大や、複数校受験ができるようになること、出願が一部ウェブ出願となることなど、大きな改革が予定されています。それに伴い、本校に入学する学生も変わってくると思います。

皆さんは新しい高専とニューノーマルな夜明けに向けてさらに前進してほしいと思います。

3 主事から

「教務関係のお知らせ」

教務主事
長谷川 章

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対してご理解、ご支援を頂きありがとうございます。

さて、本校では学生の学習、キャリア支援のためにキャリア教育・学習支援センターを設けております。同センターは、1～4年生を対象としたメンター学生による学習個別指導（学習メンター制度）や1、2年生を対象とした学習支援セミナーの他、大学編入および大学院入試対策のための数学、英語発展セミナー並びに就職、進学に関するキャリア説明会等を実施しております。特に進学希望の学生は、数学、英語の発展セミナーを積極的に利用し、受験の準備を進めていただきたいと思います。

今年度より学生ごとの学習履歴等を入学から卒業まで連続して蓄積し、学生と担任がデータを共有するe-portfolioの運用を開始しました。このポートフォリオによって、成績や各種資格の取得状況の他、学生自身が設定した目標を記録し、半年ごとに振り返りを行うことで、より具体的に次の目標や活動につなげることが期待できます。また、入学からの通算単位修得状況も確認できますので、学生の学習指導や進路指導等にも活用されます。今後、ポートフォリオの入力データ項目や活用方法について検討を重ね、学生支援ツールとして発展させる予定です。

「厚生補導関係のお知らせ」

学生主事
菊地 康昭

保護者の皆様におかれましては日頃からの学生教育へのご理解、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、今年度の実践目標は、「1. 夢を実現する実行力を身に付けよう、2. 自分の言動に責任を持とう、3. 他者を知り自分を知ろう」です。

1. は夢や目標を持つだけでなく、どのように実現するのか道筋を考え実行する力を身に付けるということです。将来、ものづくり技術者として必要な能力となります。2. は、自分の「言動」は全て自分の責任になるという自覚を持つという

ことで、自分の言動でどんな影響があるのかよく考えてから行動しようということです。3. は、自分を理解するためには他者との交流が重要で、それによって自分という人間をより深く認識することが出来るようになるということです。同時に多様な考えを持つ人間がいることを認識してお互いを尊重しようということです。クラスメイトだけでなく、課外活動など色々な活動を通じてより多くの他者との交流を持ちましょう。

コロナの状況が世界的には落ち着いてきていますので、学生の生活も徐々にコロナ前に戻っていくものと思われます。学生の皆さんには勉学や課外活動などの色々な活動を通じて実りある学生生活を送って頂きたいと思います。

「寮からのお知らせとお願い」

寮務主事
松本 克才

本年度も寮務主事を継続して行うこととなりました。よろしくお願いいたします。日頃は寮の運営等にご協力いただき、有難うございます。

さて、本年度からはI棟の完成に伴い、混住型国際寮の運営が始まりました。まだ始まったばかりで、至らぬことも多いかと存じますが、秋のN棟の完成の暁には、一般寮も含め、寮運営全般にわたる、さらなる改革を予定しております。そのため、種々のご協力をさらにお願ひすることになりますので、ご理解いただければ幸いです。

本年度から入寮した学生の皆さんは、中学校卒業後の15歳で親元を離れ、年上の先輩たちと共同生活を始めております。この生活は自宅とは違い、自由が利かないことも多く、不便なことも多々あるかと思います。しかし、本寮は皆さんの自立を促し、社会適応能力を育成できる場所と考えておりますので、保護者の皆様も含め、ご理解いただきますよう、お願いいたします。我々寮務委員は、寮生の皆さんが個々に意識を高く持ち、周りへの気配りもできる立派な人間に成長していただきたいと願っております。

また、寮内ではN棟の完成を目指し、本格的な工事が続いております。寮生・保護者の皆様には多大なるご迷惑・不自由をおかけしていると存じますが、今後ともご理解・ご協力をいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

新 入 生 紹 介

L1

コロナ禍の中で

L1担任 川 端 良 介

今年度の1年生は新型コロナウイルスの影響がある中で高専生活がスタートしました。4月の中旬に新型コロナウイルス感染対策による遠隔授業が行われたものの、コロナ禍前の学校生活とあまり変わらない日常を送れているかと思います。

ただ、勉強に関してはコロナ禍でも以前と同じように全日制の高校に比べると進むスピードが速く、課題も非常に多いため、学生も苦労している姿をよく見かけます。

苦労しながらもお互いに助け合い、支えあえるようなクラスにしていきたいと思います。

また、私が1学年の担任をするときには必ず達成したいと考える目標があり、

- ①クラス全員が進級する
- ②高専で5年間過ごすための下地を作る
- ③1年を通して厚生補導委員会（学生指導）のお世話にならない

をL1クラスの学生とともに達成したいと考えています。

今年度担任として学生と関わる機会をいただいたのですが、私自身もまだまだ未熟であるため、学生とともに成長できればと思います。保護者の皆様には色々のご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、1年間よろしくお願いします。



これからの高専生活について

環境都市・建築デザインコース1年

新 田 真 子

(八戸市立根城中学校出身)

入学してから早くも2ヶ月が過ぎました。振り返ると春学期は新しいことの連続でした。

高専生活とともに寮生活も始まりました。人生初の共同生活だったため、不安が大きかったのですが、先輩や友達とともに楽しい寮生活を送れています。課題が多く、専門科目の授業は初めてのことばかりでしたが、友達と協力し合って勉強しました。また、到達度試験の問題は難しく、自分の勉強不足を痛感しました。

今後は楽しむときと勉強するときのメリハリをつけ、充実した夏学期を過ごしていきたいと思っています。

春学期を振り返って

マテリアル・バイオ工学コース1年

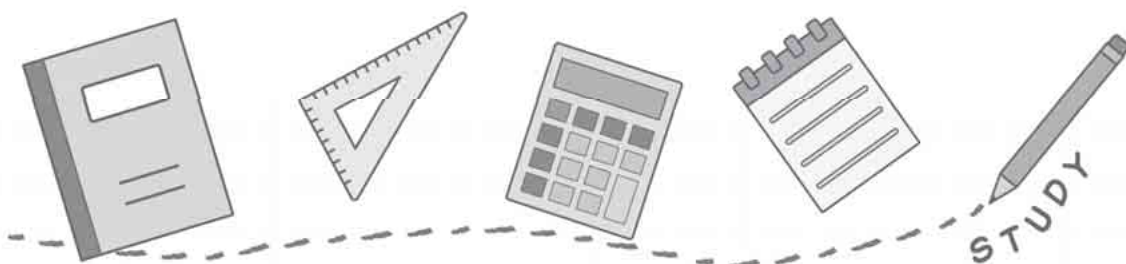
下 館 生 出 羽

(八戸市立是川中学校出身)

高専に入学して早二ヶ月、もう夏学期が始まりました。入学してからというもの、授業スピードの速さや、いままでとは違う学校生活に戸惑うこともたくさんありました。しかし、だんだんと新しい仲間たちとも打ち解け、新生活にも慣れつつあり、毎日が楽しいです。最初のころはみんな緊張して張り詰めた雰囲気が漂っていましたが、今となってはとても元気溢れるおもしろいクラスだと感じます。

学習に関しては、各コースの専門科目が週に数回あり、改めて、「高専」に入ったということをまじまじと考えさせられます。

普通高校よりも2年長いとはいえ、一生に一度しかない学校生活を楽しみながら、目標へ近づけるように頑張りたいです。



新 入 生 紹 介 L2

通過儀礼

L2担任 齋 麻 子

入学して、新たな環境と希望に胸をトキメかせる半面、戸惑い不安を抱いている学生が多い。学生個々には自分だけの“思い”に感じられるだろうが、実は自分一人だけの思いではなく、ほぼ全員が多かれ少なかれ不安を抱いているはずだ。

L2には、タイからの留学生が4名もいる。初めて親元を離れ、寮生活をしている学生は多いが、彼女らの場合はさらに国境も越え、言語もことなる新たな環境で、想像以上の不安を抱いているに違いない。留学生に限らず、少しずつではあるが、春学期を乗り越え、個人差はあるものの、クラスメイトや先輩など人間関係を広げて、互いの不安や戸惑いを共有しながら、楽しくサバイブし始めている。

先日、3年ぶりの校内体育大会が実施された。新入生はもちろんだが、2年生、3年生にとっても初めて経験する行事となった。コロナ禍で不安を抱えつつも「自分たちでできる範囲で」「工夫を凝らしながら実施可能に」の行動力を高学年生に見せてもらった。皆が楽しめるように企画運営した高学年生も、入学当時は、今のL2の学生と同じ。不安でいっぱいの中、それを皆で乗り越えて今現在がある。今抱えている不安は「通過儀礼」。大丈夫、乗り越えていけるはず。

まずはこれから過ごす混合学級の1年を大切に楽しく上手にサバイブして、頼もしい学生に成長していく土台を作ってほしいと願っている。

不安と新たな出会い

機械・医工学コース1年
宮 崎 冬 雅
(つがる市立車力中学校出身)

入学してから約2か月が過ぎ、かなり高専生活に慣れてきたように感じる。入学当初に抱いていた不安も少しずつ薄れ、新たな友と楽しく日々を過ごしている。

高専での生活は、中学校とは違い、とても刺激的であり、慣れないこと、不安なことが常につきまとっている。しかし、その壁を乗り越えるために仲間と考えを共有し、助け合っている。入学してから約2週間で遠隔授業となり、戸惑うことがあったが、なんとか授業についていくことができた。質問をしづらいため、毎回の復習がとても大

切だと思った。テストを通じて、中学校の頃の勉強方法だと点数が取れないと実感した。毎日少しでもいいから目標を立て、コツコツと勉強すべきだと思った。

寮生活では、共同生活であるため、不安しかなかった。だが、先輩はとても親切であり、すぐに生活に慣れることができた。寮生ならではの利点をこの先も活かし、勉強も部活も悔いのないものにしたい。

まだお互いに打ち解けられていないところもある。徐々にL2の仲を深くしていき、笑顔が絶えずまた明日も来たいと思えるくらい充実した高専生活にしたい。

春学期を通して

環境都市・建築デザインコース1年
石 川 萌 衣
(八戸市立白山台中学校出身)

入学してから休校や部活選びなど、戸惑う日々が続いた。そして不安と緊張のまま迎えた春学期到達度試験を終え、夏学期を迎えた。

入学前は、友達ができるか、レベルの高い授業についていけるかの心配が大きかったが、実際約2ヶ月半生活してみて、その心配は杞憂に終わった。L2クラスみんなはすごく気さくで楽しく生活できているし、留学生とも仲良くなった。勉強面でも友達の協力もあり、あまり悩むことなく乗り越えることができた。ただ、夏学期以降、どんどんレベルが上がっていくと思うので油断せずに予習・復習の習慣を身につけたいと思う。専門の授業は実習があったりして覚えることが多く、体力も必要なので高専の授業のペースに慣れ、自分自身の体調管理をしっかりできることが本当に大切だと思う。だから自己管理を徹底し、自律性を高めていきたい。

今までとは違う生活に慣れるのは大変だが、目標に向かって諦めずに努力を続けていきたい。



新 入 生 紹 介 L3

あと57ヶ月

L3担任 丹 羽 隆 裕

入学式を終えてからまもなく3ヶ月が過ぎます。全員が普通の高校とは違う環境に身を置き、人生で初めて90分に渡る講義を聞き、初めて使う実習や実験で出会う機器に戸惑い、初めての定期試験を受け、初めての成績を受け取り、生まれて初めて単位の心配をして、春学期を終えました。もちろん初めて親元を離れて寮生活を始めた学生もいます。とにかく何もかもが初めてだらけ、最初はおっかなびっくりで生活していたL3のクラスメイトも、ようやく高専生になりつつあります。

L3は良いクラスです。友達と賑やかにおしゃべりをしたり昼食をとったりする姿があれば、友達の助けを借りながら宿題やレポートに勤しむ姿もあります。もちろん、友達との交流が全てではなく、一人静かに物思いに耽る姿も見られ、まさに三者三様、十人十色。それぞれの過ごし方を見つけて日々の生活を送っています。もちろん授業は真剣。己の眠気と壮絶な戦いを繰り広げつつも勉強に勤しむ様子は、それぞれが抱く思いを垣間見ることができるようで、とても頼もしいです。

人を思いやる力が強いのも、L3の特徴でしょうか。私としては、これが何より嬉しいことです。誰かが喜ぶのを見て一緒に喜び、誰かが悲しんでいるときに一緒に泣き、誰かが苦しんでいるときに手を差し伸べて一緒に乗り越えていけることは、勉強以上に大事なことです。技術だけでこの世界は成り立ちません。技術の向こう側には常に人がいて、誰かのために懸命になる人がいることを忘れなければ、この先に心配はいりません。

高専は5年間、残り的高専生活はあと57ヶ月。そう思うと先は長いものです。同じ年代の人たちがどんどん先に進んでいく姿に焦る日も来るかもしれませんが、長い長い高専生活、ぜひたくさんのお楽しみを見つけてください。学校生活だけにとらわれる必要はありません。勉強する中で自信の才能を見出す人がいれば、それ以外のさまざまな分野で開花する才能もあるので、いろいろな世界を見てまわってください。10代後半の57ヶ月は、高専生だけに許される時間ですから。

支え合って笑い合う高専生活

電気情報工学コース1年

佐 藤 聡 太

(八戸市立第二中学校出身)

入学して二月が過ぎ、最初の到達度試験も無事に終了した。今では新しい環境にも慣れたが、始まった当初は不安だらけだった。

初めての九十分授業には戸惑い、課題を終わらせるため遅くまで起きる日々が続いた。こんな調子で楽しい学校生活がおくれるのか不安になったが、入学からいくらか日にちがたってくると次第に慣れ始め、仲の良い友達もできた。授業も進みが早いというだけで、高専だけが特別難しい訳ではなく、復習をしていればしっかりできることが分かった。到達度試験では友達と支え合いながらも勉強をして、結構高得点を取ることができた。

中学校の時とはかなり違う生活に変わった高専生活で、もうダメだと挫けそうになることもあるだろう。だが、そんな時こそ友達と支えあって笑って過ごせる最高の日常にしたいと思った。

これからの生活

環境都市・建築デザインコース1年

川 崎 明日花

(青森市立西中学校出身)

4月3日に始まった新生活にもやっと慣れてきた。春学期到達度試験も終え、夏学期が始まった。しかし入学してから私の悩みごとがなくなったことはない。

入学して2週間くらいまでは友達ができず、1人でいることが多かった。何も知らない土地で、知り合いが1人もいない場所で生活することは想像していた何倍も辛いことだった。勉強も進むスピードが早く、ついていくのに精いっぱい。到達度試験ではお世辞にも良いとは言えない成績だった。こんな状況でも私が元気でいられるのは友達のおかげだと思う。自分にも悩みがあるはずなのに、私の相談に親身になってくれる友達ができてワタシは幸せだと思う。

他人と自分を比べ過ぎず、これからも自分なりの努力を続けていきたい。

新 入 生 紹 介 L4

灯台もと暗し

L4担任 和田 和 幸

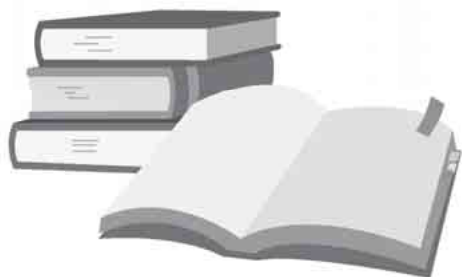
早いもので勤務6年目の春を迎えました。桜の花びらで舞っていた4月はどこへやら。草木が青々と茂り始める5月も過ぎ去りました。そしてこの原稿を6月中旬に書いております。

私の所には、月に1～2回のペースでとある情報誌を見る機会がやってきます。その情報誌にはこの地域の美味しそうなお店や、観光スポットの情報が載っています。それを見ていると「この辺りにはまだまだ自分が知らない“いいところ”が沢山あるんだなあ」と気付かされます。特に観光スポットの情報を熱心に眺めてしまう辺り、「年を重ねたものだなあ」と感じてしまうこの頃です。

コロナ禍の影響で、遠出をする事にもかなり慎重になってしまふご時世が続いています。私自身、「遙か遠方のあの場所に行きたい」のように自分の身の周りを超えた外側の世界へ目線が行きがちになります。しかし、この情報誌は「近場のあの場所に行きたい」のように視線を自分の身の周りの世界へと寄せてくれます。

自主探究のテーマ決めでは、身の回りの様々な問題・課題に触れ、「この問題を解決したいなあ」と心に決める所から始まると思います。そこから色々考え始めてみると、「いかにして自分の手で最大限やれる範囲に落とし込めるか」という部分が探究の大事な要素の一つではないかと個人的には思っています。あれこれ悩んだり、試行錯誤をしたり、他の人に手伝ってもらったり等、色々な方向を探る所に学生一人一人のストーリーが垣間見えます。先日自主探究Activity 2を終えました。クラスの一人一人が立派に発表できていたと思います。これから学生達が探究をどのように進めていくのか、大変楽しみです。

タイトルの「灯台もと暗し」は「遠くもいけれど、自分の身近な所をよく見渡してはどうでしょうか?」という意味を込めて（私自身への戒めを込めて）付けました。1年間よろしく願いたします。



新しい環境と仲間とともに

電気情報工学コース1年
白石 光
(青森市立東中学校出身)

あこがれていた高専に無事入学でき、新しい仲間と環境に胸を高鳴らせながら参加した入学式から三か月、高専の勉強は想像していた通り進むのが早く、最初のころは、少し焦ってしまっていました。予習や復習を徹底することで、しっかりついていくことができるようになりました。最初はいろいろな地域から入学してきた仲間に、うまく話しかけることができずでしたが、様々なものを通してどんどん仲良くなることができ、毎日が本当に楽しかったです。ですが、そんな楽しい中で、ひときわ大変だったのは到達度試験です。60点というハードルは思っていたよりも高く、どの教科もしっかり勉強しなければならず、正直すごく焦っていました。努力のこともあり、無事、到達度試験は乗り越えることができましたが、今後は、日々の勉強をもう少し頑張り、余裕をもって試験を乗り越えていけるように頑張っていきたいと思います。

緊張のその先に

電気情報工学コース1年
中田 煌 人
(八戸市立三条中学校出身)

春に眠りをさそわれて、爽やかな風が吹くその日。入学式だった。中学とは比べものにならない規模の校舎、まだ葉が眠っているイチョウ並木。緊張していた。「これから楽しみだ!」「どんな部活に入ろう?」そんな気持ちすら飲み込んでしまう程、緊張に支配されていた。

しばらくたっていた。学校の説明が終わり、自分の教室に戻ったところだった。そこまでは緊張で脳が働かなくて、今でもよく覚えていない。静かな教室、先生の喋る声が響く。

「以上で話を終わります。」

先生の話が終わった。その時だ。

教室が会話であふれる。「なあなあお前ど中!?!」。楽しかった。たくさんの人と話した。趣味、好きな教科、特技、さきほどまでの緊張はもうどこにもなかった。本当に楽しかった。嬉しかった。

僕はこの日、一つの決意をした。緊張ばかりせず、この高専の5年間、沢山の仲間と、あふれ返る程のたくさんの思い出を作ろうと。ここが僕たちの新しい舞台だから。

1 学年主任から

新入生諸君へ-キングオブチキンに学ぶ行動指針-

第1学年主任 齋 麻 子

コロナ禍の入学式も今年で3回目を迎えました。新入生にとっては、まったく新たな環境への突入です。期待と不安が入り乱れる新たなスタート。さらにコロナ禍の今、マスクで顔半分が隠れたまま、心もなんとなく半分隠れた状況での新しい友達作りからの学生生活スタートです。コロナ以前の新生入生がかつて経験したであろう入学式よりも、高いハードルな新生活だろうと大いに察します。

さて「キングオブチキン」(以下、オブチキ)をご存知でしょうか。

岩手県九戸村の非公認キャラクターで、地域活性化のためにグッズデザインなどで地域貢献活動をしている人です。「地域資源と文化」という授業を担当し、日頃、地域の文化に着目している私としては、非常に注目の人物です。デーリー東北新聞社の「ふみづくえ」にエッセイを寄稿している最近注目の人物です。岩手県北出身の学生には既におなじみの人? かもしれません。

去る6/15付のデーリー東北新聞社の「ふみづくえ」に、「ユウゲンコケコウ」というタイトルの文章がありました。この独特なタイトルを、一般的な日本語に翻訳すると「有言実行」というのだと思いますが…一部を引用します。

私は「頭の中で考えているだけの行為は、考えていないのと同じ」だと思っている。その人に素晴らしいアイデアがあったとしても、頭の中は他人には見えない。考えているが行動しない人と、何も考えていない人は他から見れば全く同じなのである。しかし、「言葉にする」ということはこれとは違う。少なからず行動に移したといえる。「言葉にする」という小さな行動でわ

ずかだが可能性が見いだされてくるのである。

この文章では、オブチキ氏が自身初となる作品展を開催するに至った経緯が人との結びつきによって実現したことを述べています。また、人との結びつきの中で、自分の想いを言葉にすることの大切さを説いています。

手前味噌になりますが、私自身も、これまでに進むべき道に迷った時、ひとりで抱え込まずに、多くの関わってくれる人々に自らの考えを発信し続けてきた経験があります。そして私から情報を受けとった人たちは、「きっと興味があるはず」と沢山の情報を寄せてくれました。それを少しずつ実行に移したことで現在の私があります。自分一人では前に進むことは難しいのが現実です。「寡黙」「不言実行」「秘めたる想い」は一見クールですが、伝わりません。もちろん、単なる独りよがりのTwitterなどの「つぶやき」も。自らの想いを言葉にし、周囲に理解してもらう、ということを経て、実現化していくのだと思います。それをオブチキ氏は思い出させてくれました。

新入生に限らず、コロナ禍で人との結びつきが希薄になりがちな皆さんにも、この「有言実行(ユウゲンコケコウ)」の考え方は、人との結びつきは、自らの想いを後押しし、強固なものにする原動力になると。密にならないことが求められる今、ソーシャルディスタンスを取りつつも、人との結びつきを大切によりよい学生生活を築いてほしいものです。ひとりでひとりよがりにつぶやかずに、対面で言葉にして想いを伝える大切な相手を。仲間を。課外活動など、可能な限り多くのコミュニティに参加し、作ることによって信頼できる人間関係を作っていきましょう。

夏学期授業参観を終えて

教務主事補 細 川 靖

今年は4月29日に予定されていた保護者参観日がコロナ感染対策のため中止となり、夏学期オープン授業推進週間の6月13日(月)から17(金)までが初の保護者参観日となりました。そのためか、夏学期授業参観に参加された保護者は前年度の2倍の98名となり、専攻科までの全ての学年で保護者の皆様に参観いただきました。お忙しい中、参観いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。皆様からのアンケート結果からは全ての項目で前年度よりも高評価をいただき、

平均で13%以上の向上となり、「見に来てよかったです」や「満足しました」などの感想がありました。しかし、「声が小さい」や「換気が悪いのでは?」といったご指摘もあり、今後は全教員でご指摘事項を共有して授業改善に努めてまいります。秋学期の11月7日(月)から11(金)もオープン授業週間を設定しております。今回参観できなかった保護者の皆様もぜひ授業の様子をご覧いただき、忌憚のないご意見を賜れば幸いです。

専攻科新入生紹介

夢に向かって

機械システムデザインコース1年

山田翔英

八戸高専での2度目の入学式を終え、新たな2年間の専攻科生活が始まりました。入学前に先輩方から聞いていたように本科と比べて、より実践的な内容の実験や専門性が高まった授業になりました。本科では到達度テストの時に勉強をしていましたが、今では日々の予習・復習が必要であると感じています。

私は6年間、北辰寮に住んでいますが今年からは新しく建てられた混住型国際寮に住んでいます。様々な国の留学生と共に生活することによって異文化交流し、日本にいながら国際的な感覚を身に付けられると思います。今後、学外研修でフランスへ留学します。研究を通して新たな技術を身に付け、語学力を高めたいと思います。

来年は新たな進路に向けて行動しなければなりません。自分が定めた進路に向かって進むべく、研究活動や資格の取得、語学力向上をして夢を実現できるよう努力します。

本科と専攻科の違い

電気情報システム工学コース1年

田中陽来

私は専攻科での2年間は、大学院進学への助走だと思っています。専攻科進学という選択は、本科からの研究を継続できることに加え、経済的な負担を抑えつつ勉強を進めることができるという専攻科の特徴を考慮してのことでした。

専攻科3ヶ月目の感想としては、予想よりハードスケジュールだと思っています。授業数も少なく、本科生同様課題やレポートに勤しむ日々が続いています。ただ活動が制限されない時間も増えた為、勉強を進めるなり特別研究するなり計画的に時間を活用する必要性が高まったのが大きな本科との違いと感じています。

少なからず将来への不安はありますが、あまり先を憂いて気疲れしても仕方がないと思います。まずは試験や夏に控える学会発表等、目の前のことからひとつずつこなしていこうと思います。

充実した2年間に

マテリアル・バイオ工学コース1年

田端千聖

本科を終えて専攻科に入学し、八戸高専での学生生活も6年目に突入しました。専攻科に入学して変わったことと言えば、学生生活の拠点が教室ではなく自身の研究室になり、クラスの人数も大きく減ったことで、やはりまだ寂しさを感じます。しかし専攻科では、他コースの学生と共に学ぶことが増え、自身の知識や交友関係を広めるとても良い機会であると考えています。進路を考える際、本科に比べて環境の変化が少ないことが専攻科の良さとして挙げられますが、課題や勉強、研究、実験、アルバイトに追われ、本科に比べてかなり忙しくなった印象です。また、自由な活動時間が増え、時間の使い方が自分の将来に直結するため、時間の使い方を考えさせられる毎日です。

専攻科ではやるべきこともやりたいことも沢山あります。2年間という限られた時間の中ではありますが、自分のために後悔のないように過ごしていきたいと思っています。

専攻科に入学して

環境都市・建築デザインコース1年

田中茉優

私は、昨年から行っていた研究を続けたいという理由で専攻科に入学しました。その後、専攻科での生活が3ヶ月経ち、思っていた通りの研究に打ち込める日々を送っています。昨年度までより内容を深く理解し、進められていることで研究の面白さを知ることができ、専攻科に進学したことへの意義を感じています。

また、授業においても本科では、ほぼ座講形式の授業であったのに対し、プレゼンを求められる機会が増え、より一層自身を高めていく必要があることを感じています。

専攻科では本科在学中ではなかなか無かった自由な活動時間が増えるため、自分の行動次第でどれだけ成長できるかが違ってくると考えます。勉強だけ、研究だけというのではなく、その他の活動にも積極的に関わり様々な経験を積むことで自身を豊かにしていきたいと思っています。

今年の編入生・留学生紹介

「八戸高専の勉強の体験」

機械・医工学コース3年
クリストベル ヒラリウス ダイトナ
(インドネシア)

はじめまして！イトです。インドネシアから来ました。自己紹介は省略して、興味といえば天文学がめちゃくちゃ大好きで、コンテストをきっかけに夢中になりました。だから、なぜ機械学科を選んだのか自分でもよく分かりません。

もう二ヶ月ぐらい八戸高専での生活を送りました。八戸高専に来る前は、日本語がまだまだ上手でないので授業についていけるか、友達はできるか、何か間違ったことを言ったら笑われるのではないかと悩んでいました。でも、チューターたちのおかげで「なんとかなる！」とポジティブに思えるようになりました。

八戸高専で出会う、留学生や日本人学生とは自分と考え方が違う時もあるので、毎日そういう人たちと話したり、意見を言い合ったりすることで、学問的な成長はもとより人間的な成長もできる気がします。ですから、八戸高専で日々生活を送りながら、新しいことを発見し、身に付けられると確信しています。

「高専での最初の日」

マテリアル・バイオ工学コース3年
クーンマーラー タノンサック
(ラオス)

高専での最初の日、私の人生において忘れられない重要な日でした。高専へ来る前、先輩から高専の生活について聞きました。ですから、高専の自由な生活が始まる日を心待ちにしていました。

八戸高専に入学したその日、新しい希望を持って、敷地内に入りました。高専は、ラオスの学校やその周辺で見た施設とは全く違っていました。毎日、多くの新しい人に会いました。高学年の学生は制服に制限がありません。最初の日には学生たちが自由に活動しているのを観察しました。学生たちは自分の意志で物事を自由に行うことができます。高専の中を散歩して、たくさんの本がある図書館を見てとても嬉しかったです。また、高専の研究室は私の興味を湧き立たせて、そこで実験を行うことを楽しみに思いました。

毎日授業後、掲示板のクラスのスケジュールを書き留めました。授業に出席してから、高専での教育とラオスの学校での教育が違っていたことがわかりました。高専では、各科目は専門的な教授によって教えてもらえます。教授は、問題を解けない生徒を叱責したりしません。教授は学生に自ら考えるよう示唆してくれます。

寮で家庭的な雰囲気を思い出し、新しい生活のリズムを掴んで快適な高専の生活を送りたいと考えています。

「八戸高専に入学して」

電気情報工学コース4年
木村 敦
(弘前工業高等学校出身)

八戸高専に入学して2か月半が過ぎました。その間新型コロナウイルスの影響でリモートでの授業の実施など、慣れないことが多く4月は環境の変化についていくので精一杯でした。

高専の授業は弘前工業高校で学んだ事の延長ではありますが、多くの場面で自分の理解が浅かったり、高校での学習より進んでいると感じたりする部分が多く今は少しでも遅れを取り戻そうと必死になっています。

学校生活では少しずつではありますが、友人もできてきて課題などで分からない箇所は教えてもらうなどしてなんとか日々の課題をこなしています。

これからの2年間大変なことも多いと思いますが、様々なことを体験してもっと交友関係を広げていきたいと考えているので、どうぞよろしくお願いします。

「入学してからの日々」

電気情報工学コース4年
佐藤 翔太
(弘前工業高等学校出身)

私が高専に入学してから約2ヶ月半が経ちました。約2ヶ月の生活を振り返ってみて思うことは周りの方々にたくさんお世話になりました。

入学式当日は新しい環境での生活に上手く馴染めるかととても心配でしたが、周りの席の友人や寮の同じフロアの友人がみんな気軽に接してくれて嬉しかったです。友人には勉強について分からないことだったり、移動教室の場所や課題を提出する場所が分からない時だったり、教えてもらうことがたくさんありましたが、いつでも丁寧に教えてくれて友人にはとても感謝しています。入学式当日に比べるとかなり生活に慣れてきましたが、勉強面では習っていない部分の埋め合わせがまだあるので授業の復習をしっかりと、分からない部分をそのままにせず授業についていけるように勉強を頑張りたいと思っています。みなさんこれからもよろしくお願いします。

「お話ししましょう」

機械・医工学コース1年
ウィライワン プットシリ
(タイ)

私は、ウィライワン プットシリです。ファイとよんでください。私はタイ王国のナコンサワンから来ました。タイの中央部にあります。

私の趣味は音楽を聞くことです。特技はギターを弾くことです。毎日ギターを弾いたり、音楽を聞いたりしています。みなさんも一緒に歌いませんか？私はT-ポップとJ-ポップが好きです。暇なとき、私は歌詞を作ります。3つくらい書き上げました。完成したときは、とてもうれしい気持ちになります。将来は歌詞の作曲のプロになりたいとも思っています。

それから、みなさんともっと話したいですから、日本語の勉強をがんばろうと思っています。どうぞよろしくおねがいします。

「はじめまして」

電気情報工学コース1年
パピガン ピチャヤチャーティウォン
(タイ)

私はパピガン ピチャヤチャーティウォン（マインド）です。日本へ勉強に来ました。

私の趣味は、映画を見たり、アニメを見たりすることです。一番好きなアニメは「ようこそ実力至上主義の教室へ」です。

実は、もう一つ趣味があります。私は図書館でいろいろな本を探して読むのが好きです。でも、日本の道はまだわかりません。ですから、おすすめの図書館や本屋さんがあったら、教えてください。それから、日本の色々なところへ旅行したいです。日本の料理を食べたり、散歩したりしたいです。今から楽しみにしています。私はまだ日本語が上手じゃありませんが、皆さんと話したいです。何か提案があったら、教えてください。一緒に話ししましょう！！

「こんにちは！！」

マテリアル・バイオ工学コース1年
パナッダー チャルーンポン
(タイ)

私はパナッダー チャルーンポンです。リンと呼んでください。マテリアル・バイオ工学コースの1年生です。私はタイ王国のウドンターニー県から来ました。タイの東北部にあります。

私は、好きなことがたくさんあります。まず猫が好きです。猫はかわいいです。それから、趣味は絵を描くことと、ゲームをすることです。また、日本の歌も好きです。ひまなとき、私は日本の歌を聞きながら、絵を描きます。ファンタジーアニメを見るのも好きです。もちろん勉強も好きです！とくに科学と歴史が好きです。

八戸高専では日本語とエンジニアリングを勉強していきたいです。初めて日本に来たとき少し心配でした。でもみんないつもとても親切にしてくれるので安心しました。日本は気候もいいし、食べ物も美味しいし、それにおもしろいことがたくさんあります。これから、日本を色々旅行したり、みんなと話したりしたいです。よろしくおねがいします。

「どうぞよろしく」

マテリアル・バイオ工学コース1年
ジラーラック チャルムポンパイサーン
(タイ)

こんにちは。私はタイのアユタヤから来ましたジラーラック チャルムポンパイサーン（パンチ）です。アユタヤはタイの中央部にあります。

私の好きな食べ物はトムヤムクンです。えびが入った、辛い食べ物で、とてもおいしいです。もちろん八戸の食べ物も好きです。

タイの気候は暑いです。毎日30℃以上でとても暑いです。ですから八戸に初めて来た時は、毎日寒いと感じていました。そして私は雪をまだ見たことがありません。冬が楽しみです。最近の趣味は、音楽を聞くことです。J-POPとK-POPが好きです。歌うことも好きですが下手です。化学をもっと知りたいのでたくさん勉強したいです。八戸高専での勉強を頑張っていきます。これからどうぞよろしくおねがいします！



新任教職員紹介



- ①氏名
- ②出身地
- ③所属・職名
- ④前職

- ① 小笠原 幸 子
- ② 青森県八戸市（生後半年間居住）
- ③ 総合科学教育科・特命准教授
- ④ 弘前大学教育学部附属中学校

今年度4月から総合科学教育科に着任いたしました。昨年県内に参りまして、県内2年目を生まれ故郷の町で過ごすことになりました。海外に出かけると、パスポートに「出生地 Aomori」と記され、入国審査の度にそれを眺めてきましたが、今、本県に住んでいることに感慨を覚えます。

学部では英米文学を学び、英国の大学院に進んでからは、英語教育が専門です。日本人は英語が苦手だと言われます。外国語習得理論に基づき、少しでも皆さんが効率よく学習し上達する助けになるよう研究しております。

世界約30か国を旅した経験から、英語を話せば何とかかなり、英語の習得は自分の世界を広げてくれると思います。国内も、東京で高校を卒業し、成人後は大阪に長年住みました。全国どちらの話でも、気軽に聞いてください。どうぞよろしくお願いいたします。

- ① 東海林 恵 子
- ② 神奈川県
- ③ 総合科学教育科・特命助教
- ④ 東海大学

新年度より赴任しました東海林（しょうじ）と申します。私は生まれも育ちも神奈川です。神奈川の海のそばの温暖な地域で過ごしてきたこともあり、八戸の驚異的な寒さに驚いています。今から冬の到来に不安を隠せません。

私は、文化に関わる状況について研究をしています。文化の背後にある意味や行動パターンの意味を参与観察を通して分析します。つまり簡単に言えば異文化についての分析です。専門はインドネシアの文化についての研究をしています。ここ、八戸も私にとっては「異文化」です。八戸の文化を「参与観察」して異文化理解をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

- ① ガルブレス・ハンナ・エリザベス
- ② アメリカ合衆国（青森県八戸育ち）
- ③ 総合科学教育科・特命助手
- ④ 新卒採用

今年度から2年間、特命助手として務めることになりました。八戸高専マテリアル・バイオ工学コースを卒業し、4月からタイの留学生のサポートを行っています。5年間生活してきた環境の中でも、教員の立場になるとまた違う経験で、新鮮な気持ちでスタートができました。「ハンナ先生」と呼ばれるたびに、学生が私を頼っていることを思い出し、良いお手本になれるよう、意識して責任を持った行動をとれるようになりました。何より、留学生との触れ合いが楽しく、勉強面・生活面でのサポートを通して成長する姿を見られることが喜びです。私もこの経験を通してたくさんのことを学び、成長したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

- ① 北 川 広 大
- ② 北海道札幌市
- ③ 機械・医工学コース・助教
- ④ 九州工業大学大学院 博士課程

はじめまして。今年度から機械・医工学コースの助教として着任いたしました北川広大と申します。

私の出身地は北海道札幌市です。私は北海道釧路市にある釧路高専の本科・専攻科を卒業・修了し、福岡県にある九州工業大学の大学院に進学しました。そして、大学院の博士後期課程を修了し、今年の4月から本校に着任いたしました。このように、高専専攻科までの在学経験や大学院への進学経験があるので、進路に関するご相談があれば何かお役に立てることがあるかもしれません。

私自身に未熟な部分が多いものの、先生方、職員の方々、学生の皆さんの親身なご協力のおかげで、少しずつではありますが業務を進められつつあります。また、着任から間もないですが、街の雰囲気や食べ物などから青森県や八戸市の魅力を感じております。至らぬ点・未熟な点が多いですが、今後ともよろしくお願いいたします。

- ① 橋 本 美佐子
- ② 出生地：鶴岡市 主な生育地：弘前市
- ③ 事務部長（併）総務課長
- ④ 弘前大学保健学研究科 事務長

この4月1日付で着任いたしました橋本です。実を申しますと、何年かのブランクを挟みつつ、本校へは3度目の着任となります。「ただいま」という思いがある反面、様々な改革や新しい取組が大変なスピードで進んでいることに驚愕し、懐かしい方々に支えられつつ、新鮮な気持ちで業務に取り組む毎日です。（浦島太郎でご迷惑をお掛けしていることも多々ありますが…）

毎朝、学生達と「おはよう」と挨拶を交わすたびに、人生の中で一番成長・変化する時期の学生達の姿を見守ることができる嬉しさと責任感を（勝手に）感じています。この思いは、大学での仕事とはまた異なる、高専ならではの感覚です。

本校の校訓である「誠実・進取・協調」は、私が仕事に向かう際の心構えでもあります。

この校訓を座右の銘として尽力する所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

- ① 佐 賀 政 英
- ② 岩手県盛岡市
- ③ 総務課・調達係長
- ④ 一関高専・学生課・寮務係長

4月に一関高専から人事交流で参りました。

八戸市には過去3度訪問していますが、地理に詳しくないため、この機会に八戸市および青森県の各所を訪ねようと日々計画をしています。

経歴は茨城大学工学部を卒業後、民間を経て、岩手大学で13年、一関高専で6年勤務してきました。その間、人事、共済、財務、教務、学生支援、附属学校事務、学生寮を担当してきました。

今回は初めての調達担当になり、日々、冷や汗をかきながら仕事をしています。

これから色々お世話になりますので、皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

- ① 高 橋 真 道
- ② 岩手県北上市
- ③ 総務課地域連携係長
- ④ 弘前大学医学部附属病院
経理調達課主任

この4月に弘前大学から人事交流で着任しました。福島大学を卒業後、地元企業に就職したのち弘前大学に転職、東北大学に出向して弘前大学に復帰と、東北地方を北に南に、西に東に動き回っております。八戸は初めてですが、積雪は少ないと聞いていますので、除雪に時間と労力を費やす必要は無さそうで、その点安堵しています。

肝心の業務に関してですが、外部資金、研究推進、社会連携の分野はこれまで全くの未経験で、また高専の体制・システムに関して不勉強のため、あちこちにご迷惑をおかけしている状態ですが、みなさま今後も優しくご指導いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

- ① 今 村 圭 太
- ② 青森県青森市
- ③ 機械・医工学コース 技術職員
- ④ 東北大学 総合技術部 技術職員

今年度4月から教育研究支援センター（機械・医工学コース）に技術職員として着任いたしました今村圭太と申します。前任地の東北大学では、多元物質科学研究所技術室 機械工場において、工作機械を使い実験装置や部品の製作・改良、衛生管理者として研究室巡視等の各種衛生管理業務にも従事していました。

本校では専門の工作実習も担当しますが、主にCAD室に設置されている機器の保守管理、情報処理や2D・3D CADの授業をサポートとして担当します。慣れない業務で多少不安なところはありますが、先輩技術職員の方々に教わりながら早く業務を覚えるように取り組んでまいります。

今までの経験を活かし、慣れ親しんだ青森県で学生の皆さんと『ものづくり』を通して一緒に楽しく学んでいけたらと思っています。これからどうぞ宜しくお願いいたします。

- ① 四 戸 柚 衣
- ② 青森県八戸市
- ③ 総務課総務係
- ④ 新卒採用

今年度4月1日付で採用になりました四戸柚衣と申します。高校までを八戸市で過ごしましたが、今年の3月までは弘前市の大学で国語教育を専攻しておりました。大学卒業と同時に八戸市へ戻ってきて、このたび八戸高専で採用していただくことになりました。

総務係に配属され、新しく覚えることがたくさんある中で業務に追われる毎日です。職員としても、社会人としてもまだまだ未熟ではありますが、温かくご指導いただけることに感謝しております。これからもご迷惑をおかけすると思いますが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



北辰寮より

「北辰寮 総代より」

電気情報工学コース5年
橋本正彦
(青森市立東中学校出身)

感染症の対策をしながらの生活が始まってから約二年になります。様々な制約の中での生活の日々が続いていますが、少しずつできることは間違いなく増えてきています。今年度から入寮した1年生は、慣れない環境で不安があったかと思いますが、最近は同学年の人や先輩方と楽しく過ごしている様子も見られ安心しています。生活に慣れてきたからこそ、感染症対策にはより一層気を付けましょう。特に5年生は進路関係で県外移動などが増えるので消毒やマスク着用・密集を避けるなどの徹底をお願いします。また、部活動が再開できていますし、学生皆さんの協力で体育祭も3年ぶりに無事に行うことができました。今年は寮祭も行える予定です。実行委員会、祭典局等の皆さんに感謝します。自由で楽しい寮生活が戻ってくるよう、寮生一人一人のご協力よろしくお願いします。

「国際寮 新棟について」

電気情報工学コース4年
杉本遼太郎
(八戸市立第三中学校出身)

今年度からI棟が加わり、新たな体制での国際寮生活が始まりました。およそ三か月が経ちましたが、今のところ大きなトラブルなく、互いに協力し合い、新しい環境での生活を送っています。I棟は共有スペースの有効化等をコンセプトとし設計され、アットホーム感のある暖かいデザインがとても魅力的です。個人の部屋を出ると一つの大きなスペースがあり、みんなで活動ができるようなテーブル、キッチン、学習等に使えるホワイトボードが使用できます。ユニット制になり、異なる学年、国籍での共同生活になりましたが、新しい国際寮の仕組みは学生同士のコミュニケーションに良い影響を与えてくれていると感じています。また、ユニットを構成する人数が少ないため、与えられた役割のみならず率先して仕事をすすめる学生も多いです。共有スペースでの活動には新型コロナウイルスのリスクが伴うことも十分に考えられます。

引き続き感染対策を十分に取り、明るく生活しましょう。

「新入寮生を迎えて」

寮務主事補 菊池秋夫

令和4年4月3日(日)、新留学生6名(男子2名、女子4名)を含む新入寮生83名(男子60名、女子23名)が北辰寮に入寮し、全寮生339名でスタートいたしました。

今年度は北辰寮にとって大きな変革の年ということが出来ます。新たに混住型国際棟I棟がスタートし、改装工事中だったE棟も利用再開となりました。それに伴い、事務室および寮務委員室もE棟1Fへと移動になりました。またA棟宿直室からE1F教員室に変更となりました。このようにスタッフのロケーションを集約することで情報共有が効率化され機能的な対応が可能となる体制になります。

また、今年度後半には、新しい混住型寮N棟が運用開始となります。

現在、新型コロナウイルスの影響下で厳しい制限にありますが、さまざまな短期ステイも含め多文化交流の道筋が広げられようとしています。新入寮生は、ごみゼロ運動への参加や寮祭など、いままで地域への貢献や寮行事の伝統も、先輩たちが紡いできたもの、コロナで実施できなかったことも経験していくことになります。有意義な寮生活になるように願ってやみません。



相 談 室 か ら



相談室長 河 村 信 治

相談室では、心身の変調や悩みのある学生に対して、カウンセラー等による支援を行っています。精神科医や、臨床心理士・公認心理師の資格を持つカウンセラーが定期的に来校していますので、安心してお気軽にご相談ください。コロナ禍での会話や交流の不足、さらに社会の対立や分断が目立ち、誰もがストレスを抱えがちな生活が長く続いています。そうでなくても、青年期は心身が大きく変化・成長する時期であり、悩みの種も尽きないものです。

相談室は夏休み中も通常通り開室しています。相談がある場合は、まず電話かメールで相談員か保健室にお問い合わせください。カウンセリングを希望する場合は、日時を予約しての対応になります。下記に示す本校ホームページにカウンセラー等の来校予定日が掲載されていますので、ご確認ください。

相談は原則として学校にて「対面相談」で行います。どうしても来校できない場合はインターカー（窓口）にご相談ください。

さらに本校では、社会福祉士の資格をもつスクールソーシャルワーカー（SSW）が週3回来校しています。家庭や学外でトラブルが生じた場合などに是非ご相談ください。

いずれの場合も秘密は守られます。

発達障害等の診断を受けてきた場合や、生得的なさまざまな特性により支援が必要と思われる場合にも相談室にご相談ください。合理的配慮が必要な場合はご相談の上支援体制を整えるなど、適切に対応して参ります。

相談室の担当は次の通りです。

◎カウンセラー

笹 博（医師・本校客員教授）
土屋 文彦（臨床心理士）
中西 智子（臨床心理士）
嶋野知恵子（公認心理師）

◎スクールソーシャルワーカー（SSW）

正部家 千穂子（社会福祉士）
原則毎週月・木・金曜日

校内に「カウンセラー来校日のお知らせ」ポスターや、各教室内に「相談室からのお知らせ」も掲示しています。

◎インターカー（窓口）TEL 0178-27-7236

石川久美子（看護師、保健室）

吉田左千枝（看護師、保健室）

◎相談員

各コースの教員を配置し、保健室の談話スペースにて日替わりでご相談に応じます。夏学期の担当は次の通りです。

（授業日の16：00～17：00）

月曜日：小船茉理奈 電話 0178-27-7295

（マテリアル・バイオ工学コース）

火曜日：中村嘉孝 電話 0178-27-7285

（電気情報工学コース）

水曜日：馬渡 龍 電話 0178-27-7309

（環境都市・建築デザインコース）

木曜日：河村信治 電話 0178-27-7240

（総合科学教育科）

金曜日：北川広大 電話 0178-27-7264

（機械・医工学コース）

◎教職員向け相談員

下に示す時間、場所で相談に応じます。主に教職員向けですが、学生でも相談できます。

工藤憲昌 相談員 内線7281

金曜日15:00～17:00

工藤教員室（E棟4階）

吉田光男 相談員 内線7274

月曜日10:00～12:00

ものづくりセンタープログラム室

八戸高専 相談室ホームページ

<https://www.hachinohe-ct.ac.jp/schoollife/soudan/index.php>

☆学生本人と保護者の方々がご利用になれる高専機構の「KOSEN健康相談室」フリーダイヤル0800-000-2228もあります。

（受付時間：24時間・年中無休）

国際交流・グローバルエンジニア育成に向けて

国際交流センター長
横 田 実 世

この2年間、新型コロナウイルス感染拡大により、旅行・留学を含めあらゆる面で行動が制限されました。しかし、本校ではオンライン国際自主探究、SDGsセミナー、オンライン異文化交流・英会話などを数多く取り入れています。それにより、海外留学に高いハードルを感じていた学生でも、八戸にいながらグローバルエンジニアへの小さな一歩を経験できたと考えています。本校の国際交流・グローバルエンジニア育成のためのプロジェクトを紹介します。今年度も様々なプログラムを予定していますので、皆さんも積極的に参加しましょう。

1. 新留学生：今年度、タイから女子留学生4名(C:2名、E:1名、M:1名)が1年生として入学しました(L2)。また、インドネシア(M3)とラオス(C3)から男子学生2名が編入しました。留学生は専門分野を日本語で勉強しています。家族のいない八戸での生活に慣れないことも多いです。クラスや寮などで是非話しかけてあげてください。



タイからの新入生

2. タイ：セレクションキャンプ

本校では毎年タイのプリンセスチュラポーンサイエンスハイスクール(PCSHS)からの留学生を受け入れています。彼らは高専で学ぶために本国で何百倍の競争を勝ち抜いて選ばれた優秀な学生たちです。来日までに数回の試験・面接と共に「キャンプ」があり、日本の受け入れ高専では地域や学校の紹介を行います。今年度最初のキャンプは6月3日に行われました。

3. グローバルラーニングセンター (GLC)：

GLCでは資格試験取得や、英語力を伸ばしたい人だけでなく、英語を不得意とする学生の個別指導

を行っています。校長講話の際に教務主事からも話がありましたが、2年生は英検準2級、令和5年度4年生はTOEIC400点が進級要件になります。不安がある人は早めにGLCを活用し準備をしましょう。

4. チューター・メンター：留学生が日本語で専門授業を受けるのは日本人が海外の大学で学ぶのと同じです。本校ではチューター・メンターシステムがあり、チューターは生活面におけるサポート、メンターは主に学業におけることをサポートします。公募は年1回、春学期にクラス担任の声かけや周りの推薦等で決定します。興味のある方は以下の問合せ先に申し出てください。サポートは日本語で構いません。活動をととして留学生から学ぶこともたくさんあり、将来グローバルエンジニアとして活躍する上で重要なスキルも身に付けることができます。



メンター・チューター任命式

5. ホームステイ：お盆や年末年始の学校閉鎖時に自国に帰る留学生もいますが、ここ数年はコロナ感染拡大のため帰国できていません。そこで令和2年度から本校学生宅に留学生が滞在し、お正月体験や、家族と過ごして日本や八戸の文化を楽しんでいます。数日の短期受入でも構いません。興味のある方はお声がけ下さい。

【問い合わせ先】

○GLC …英語科、国際交流センター

○チューター・メンター

…クラス担任、教務係、国際交流センター

○ホームステイ…総務係、吉田先生(G科)

キャリア教育・学習支援センターから

～希望進路の実現のために～

キャリア教育・学習支援センター長

沢村 利洋

今年度、センターは名称を「キャリア教育・学習支援センター」と変更しました。これまで行ってきた「キャリア教育」と「学習支援（進学支援含む）」を、センターの2本の柱として運営していくことを明確にした変更です。今年度のセンター事業を以下に紹介しますので、有意義な高専生活を送り希望の進路が実現できるようご活用ください。

【キャリア教育】

センターでは、次のように「学年別キャリアデザイン行動指針」を定めました。自分が、いま、最低限何をしなければいけないか確認し、行動してください。

- 1年：他人とのつきあい方を知り、自分を知る
- 2年：将来像を考え、行動目標を設定する
- 3年：進学・就職それぞれについて研究する。
- 4年：希望とする進路先を決め、就職試験や大学入試に向けた準備をする
- 5年：進路活動。将来を展望する

また、この行動指針を達成するためのサポートとして、次の講座や説明会を開催しています。

※括弧内は対象学年

- ・キャリア説明会（各学年）
- ・自己分析講座（1, 3年）
- ・インターンシップ準備講座（4年）
- ・就職活動準備講座（4年）
- ・進学予定者報告会（全学年）
- ・大学・大学院説明会（主に3年以上）

その他にも、進路活動で使う自己PR文の添削指導を行ったり、メールで大学オープンキャンパス情報等をお知らせしたりしています。外部の情報を得ることができる数少ない機会です。興味を持って積極的にご参加ください。

【学習支援－進学支援】

大学・大学院への受験対策や、進学してから必要な学力をつけてもらう目的で次の事業を行っています。

- ・数学発展セミナー（通年、3年以上）
- ・集中数学セミナー（春秋、4年）
- ・英語イブニングクラス（秋冬4年）
- ・英語発展セミナー（春夏4年、秋冬3年）

また、定期試験でない外部試験に対して自分がどれくらい太刀打ちできるか測るために、受験シーズンに入る直前に数学と英語の模擬試験を実施しています。

学校の授業は基本的に受験向けではなくエンジニアになるために組まれた内容です。一方で、受験は全国の優秀な高専生がライバルであるため、プラスアルファの勉強が必須です。3年生頃には目標を決め、早めに受験対策の勉強を始めてください。また、希望大学の過去問が解けるようになっても、その問題はもう出題されないものです。幅広い応用力をつけ、初見の問題を解けるようになるために、上記プログラムを存分に活用して下さい。

【学習支援－学力向上支援】

「もうちょっと学力をつけないと高学年になった時に不幸になるかもしれない」と過去の経験をもとに担当教員や担任が選出した学生、もしくは自分から理解度を高めたいと応募した学生対象に次のプログラムを組んでいます。

- ・数学基礎学習セミナー（1, 2年対象）
学期ごとに6回ずつ。すべての課題をすることが補充試験の資格
- ・英語到達度試験対策（1, 2年）
到達度試験前に実施。
- ・メンター制度（1～4年）
学期ごとにメンティの募集。継続の場合も申請を。1, 2年は数英除く（基礎セミナーで対応）。

その他にも、キャリア支援・学習支援いずれにおいても様々なプログラムを用意しています。順次、メールや掲示で詳細をご連絡していきます。積極的に活用してください。

図書館の今年度の予定

図書館長：釜谷博行

今年度の図書館の活動として、以下のことを計画しています。

<読書習慣を身につけさせるための各種行事の充実>

- ・ブックハンティング
- ・ニューズレターの発行
- ・学生会図書委員会の活動支援

<学外行事への参加>

- ・青森県高等教育機関図書館協議会（オンライン会議）

<令和4年度図書館委員会行動計画>

- ・交流室の積極的な活用の推進
- ・読書習慣を身につけさせるための各種行事の充実
- ・蔵書点検の実施
- ・資格試験コーナーの充実

<その他>

- ・八戸ブックセンターとの連携「ひと棚選書」

「本のまち八戸」推進の拠点施設「八戸ブックセンター」内に「ひと棚」を設置し、来館者の「本との出会い」創出の試みとして、市内の高等教育機関の教員が推薦する書籍が、常設ブースに陳列されます。

今年度も高専教員の皆様から図書を紹介して頂く予定です。

- ・SDGsコーナーと就職コーナーの開設について

令和4年1月よりSDGsコーナーと、令和4年5月より就職コーナーを新たに開設しました。SDGsとは「持続可能な開発目標」のことで、17種の各目標項目に関連した書籍を取り揃えております。一方、就職コーナーでは、就活時に必須となる適性検査や面接などに関する書籍を取り揃えております。積極的にご利用ください。



ひと棚コーナー



就職コーナー



SDGs コーナー

就職・進学状況について

産業システム工学科長
進路支援等委員長

齊 藤 貴 之

1. 現在の進路状況

今年度の本科5年生および専攻科2年生の6月13日現在の進路状況を表1および表2に示します。求人社数は昨年度より若干増加しています。

求人倍率は依然としてどのコースも高く、高専生に対する企業からの期待が大きいです。現在、本科全体の就職希望者の割合は38%、進学希望者の割合は62%です。昨年度の進学希望者の割合は53%で、進学希望者が増えました。また、専攻科の就職希望者と進学希望者の割合はそれぞれ50%です。昨年度の進学希望者の割合は48%で、同様の割合となりました。

2. 今年度の就職活動

日本経済団体連合会(経団連)は、2016年から「採用選考に関する指針」で、企業の広報活動は3月1日以降、選考活動は6月1日以降、正式な内定日は10月1日以降と定めていました。2021年卒の学生から上記「指針」は策定されなくなりましたが、政府より上記日程を踏襲するよう企業に要請しており、現在も概ね上記日程で採用選考が進んでいます。

本校の場合、3月1日から本校の求人システムより各企業の求人票が閲覧できるようになります。3月中に企業見学(オンライン見学もあり)、履歴書作成を行い、4月から応募が始まります。今年度も4月中に面談(オンライン面談もあり)等が行われ、5月の連休前後に合否が確定する事例が多かったです。

一方で、こうした日程よりも前倒しでの選考も行われます。4年生や専攻科1年生の3月から選考を始める企業もあり、4月はじめには合否が確定している事例もありました。

学年末の試験が終われば、就職活動が本格化するため、早めに準備を始める必要があります。4年生や専攻科1年生の12月頃から各種の企業説明会が実施されますので、積極的に参加し、企業研究を進めてください。

3. 今年度の進学活動

大学受験の願書提出は4月から始まります。就職活動では推薦応募で1社を受けることが多いで

すが、進学の受験では大学毎に受験日が異なるため、複数大学を受験しています。夏休み中までに、すべての合否が確定することが多いですが、年度末まで受験することもあります。今年度も、現在受験中で、夏休みまでは、多くの学生が学校の勉強と受験勉強を同時に行うことになります。

受験大学は3、4年生で決め、志望大学にあわせた受験勉強を早めを開始する必要があります。夏休み中は大学のオープンキャンパスが行われることが多いです。積極的に参加し、進学したい大学を決めてください。

4. 進路を決めるにあたって

本校では、キャリア教育・学習支援センターを中心に各種キャリア教育プログラムを実施しています。様々なプログラムにより学生自身が自らの将来像を描き、どのような準備をしていくか検討することが可能になっています。低学年から進路を意識してもらい、高学年では希望を確定できるようプログラムを構成しています。低学年から進路を考えて勉強や課外活動に取り組むとよいでしょう。また、進路に関して不明な点があれば、随時、担任やコース長に相談してください。

表1 本科進路状況(6月13日現在)

コ ー ス		M	E	C	Z	計
卒業予定者数		31	38	41	36	146
就 職	希望者数	13	13	11	18	55
	求人社数 (昨年同時期)	684 (649)	705 (665)	499 (466)	513 (499)	2401 (2279)
	求人倍率	52.6	54.2	45.4	28.5	43.7
	進学希望者数	18	25	30	18	91

表2 専攻科進路状況(6月13日現在)

コ ー ス		AM	AE	AC	AZ	計
修了予定者数		7	5	7	1	20
就 職	希望者数	3	3	4	0	10
	求人社数 (昨年同時期)	663 (608)	682 (624)	489 (437)	506 (472)	2340 (2141)
	求人倍率	221.0	227.3	122.3	0.0	234.0
	進学希望者数	4	2	3	1	10

学 生 表 彰

○令和3年度 学年学業成績優秀賞

氏 名	進 級 後 ク ラ ス
【1年次成績部門】	
福 士 涼之真	機械・医工学コース2年
関 下 哩 駆	電気情報工学コース2年
横 野 彩 音	マテリアル・バイオ工学コース2年
佐々木 美 月	環境都市・建築デザインコース2年
【2年次成績部門】	
阿 部 祐 輔	機械・医工学コース3年
三 上 朝 陽	電気情報工学コース3年
柿 崎 元 徳	マテリアル・バイオ工学コース3年
中川原 快 生	環境都市・建築デザインコース3年
【3年次成績部門】	
増 尾 桃 佳	機械システムデザインコース4年
熊 谷 大 智	電気情報工学コース4年
吉 田 幸 生	マテリアル・バイオ工学コース4年
武 井 柊詩朗	環境都市・建築デザインコース4年
【4年次成績部門】	
小笠原 照 悟	機械システムデザインコース5年
青 山 豊 茂	電気情報工学コース5年
山 一 真 也	電気情報工学コース5年
上 平 匠 真	マテリアル・バイオ工学コース5年
土 岐 翔 洋	環境都市・建築デザインコース5年
【専攻科成績部門】	
柳 沢 啓 斗	機械システムデザインコース2年
小子内 行 羅	電気情報システム工学コース2年

○三ヶ年皆勤賞

機械システムデザインコース	電気情報工学コース	マテリアル・バイオ工学コース	環境都市・建築デザインコース
秋 本 勇 仁	上 田 堅太郎	石 屋 優	石 橋 知 士
一 森 純	岡 田 純 英	岩 間 孔 香	市 島 幸 奈
内 宮 美 月	上 條 滉 斗	小笠原 悠	北 向 瑛 世
苅間澤 恭 大	河 村 宗 哉	五 戸 陽菜乃	古 川 雄
菊 地 一 紗	熊 谷 大 智	羽 鳥 威 吹	佐 藤 和 美
熊 谷 洋 飛	相 馬 崇 史	藤 田 純 矢	関 端 梨 佳
中 島 彬	高 橋 真 樹	吉 田 楓 華	嶋 本 啓 吾
長 根 直 幹	竹 内 開 徒		鈴 木 陽 菜
西 谷 星 那	梨 子 宙 洋		武 井 柊詩朗
二ノ久保 綾夏	成 田 璃 那		谷 内 佳 吾
畑 中 星 哉	野 口 優 大		種 市 佳 純
村 上 智 哉	馬 場 大 誠		辻 美 咲
山 田 晟 也	町 屋 慶 明		天 間 琴 心
和 田 快 人	南 野 英 也		沼 上 和 樹
	元 沢 拓 夢		
	渡 辺 詩瑛留		

第59回 東北地区高等専門学校体育大会結果一覧

団体の部

競技開催校	競技名	大会会場	男子	女子	競技日程
八戸高専	サッカー	六戸町総合運動公園	1回戦敗退	-	令和4年7月1日(金)～3日(日)
	バドミントン	八戸工業高等専門学校体育館	第3位	-	令和4年7月1日(金)～3日(日)
一関高専	陸上競技	一関運動公園陸上競技場	-	総合優勝	令和4年7月1日(金)～2日(土) 予備日:7月3日(日)
	ハンドボール	花巻市総合体育館	-	-	令和4年7月8日(金)～10日(日)
秋田高専	テニス	秋田県立中央公園	第3位	-	令和4年7月1日(金)～3日(日)
	剣道	秋田県立武道館	第4位	第4位	令和4年7月1日(金)～3日(日)
鶴岡高専	水泳	鶴岡市民プール	第2位	第4位	令和4年7月1日(金)～3日(日)
	柔道	朝陽武道館	第5位	-	令和4年7月1日(金)～3日(日)
仙台高専 広瀬	バレーボール	【7/1～2】宮城野体育館 【7/3】仙台高等専門学校広瀬 キャンパス	第1位	予選敗退	令和4年7月1日(金)～3日(日)
	ソフトテニス	七北田公園庭球場 【雨天時】シェルコムせんだい	予選敗退	なし	令和4年7月1日(金)～3日(日)
仙台高専 名取	硬式野球	名取市民球場、宮城広瀬球場	2回戦敗退	-	令和4年7月1日(金)～3日(日)
	バスケットボール	仙台市若林体育館	-	-	令和4年7月1日(金)～3日(日)
福島高専	ラグビーフットボール	鮫川河川敷グラウンド			令和4年10月15日(土)～18日(火)
	卓球	内郷コミュニティセンター	第3位	優勝	令和4年7月1日(金)～3日(日)

全国大会団体出場競技

競技名	全国大会会場	全国大会日程
バレーボール 男子	愛媛県総合運動公園体育館	令和4年8月20日(土)～21日(日)
卓球 女子	高知県立県民体育館	令和4年8月20日(土)～21日(日)

個人の部

競技種目	種 目 名	クラス	氏 名	成 績	全 国 大 会 日 程
陸上競技	男子走高跳	E 4	熊 谷 大 智	3 位	日程：令和4年8月20日（土） ～ 21日（日） 会場：愛媛県総合運動公園 （ニンジニアスタジアム）
	男子砲丸投	C 4	下柝棚 大 河	1 位	
	男子円盤投	C 4	下柝棚 大 河	2 位	
	男子円盤投	M 3	浅 木 慎之介	3 位	
	女子 100mH	Z 3	祐 川 和 奏	1 位	
	女子 4 × 100mR	C 4	岩 間 孔 香	1 位	
		Z 3	祐 川 和 奏		
		C 2	高 渕 紗 也		
		Z 1	芳 賀 佳乃子		
	女子走高跳	Z 3	祐 川 和 奏	1 位	
	女子走高跳	E 4	塚 原 沙 依	2 位	
	女子砲丸投	M1	永 澤 七 明	2 位	
	女子砲丸投	Z 3	嶋 守 和 夢	3 位	
	女子円盤投	M1	永 澤 七 明	1 位	
	女子円盤投	Z 3	嶋 守 和 夢	2 位	

第59回 東北地区高等専門学校体育大会結果一覧

個人の部

競技種目	種 目 名	クラス	氏 名	成 績	全 国 大 会 日 程
バドミントン	-	-	-	-	-
ソフトテニス	女子個人（ダブルス）	C 3	高 崎 美 羽	2 位	日程：令和4年8月27日（土） ～28日（日） 会場：香川県総合運動公園 テニスコート
		C 4	高 村 理 子		
柔 道	女子	Z 3	月 折 優里明	2 位	日程：令和4年8月27日（土） ～28日（日） 会場：高松市総合体育館 第1競技場
	女子	Z 3	月 岡 彩 音	1 位	
	男子 66kg級	C 3	古 田 耀	3 位	
卓 球	男子 シングルス	C 2	和 田 佳 都	1 位	日程：令和4年8月20日（土） ～21日（日） 会場：高知県立県民体育館
	男子 シングルス	E 3	中新井田 登大	2 位	
	男子 シングルス	Z 2	吉 田 諒	3 位	
	女子 シングルス	C 2	田 中 蒼 空	3 位	
	女子 ダブルス	C 2	蛭 名 歩 来	1 位	
		C 2	田 中 蒼 空		
テ ニ ス	女子個人（ダブルス）	M 2	工 藤 柚 季	3 位	-
		C 2	立 崎 彩 芽		
剣 道	-	-	-	-	-
水泳競技	男子 4 × 100m メドレーリレー	Z 4	松 山 慎太郎	1 位	日程：令和4年9月3日（土） ～4日（日） 会場：アクアパレットまつやま （松山中央公園プール）
		Z 2	奥 谷 航 大		
		C 2	神 偉 晴		
		C 4	下 野 直太郎		
	男子 4 × 200m フリーリレー	Z 2	奥 谷 航 大	3 位	
		C 2	神 偉 晴		
		M 2	小 山 佑 基		
		Z 1	小笠原 琉 衣		
	男子 4 × 100m フリーリレー	Z 4	松 山 慎太郎	2 位	
		C 4	下 野 直太郎		
		Z 2	奥 谷 航 大		
		C 2	神 偉 晴		
	男子 50m 自由形	C 4	下 野 直太郎	3 位	
	男子 100m 自由形	C 4	下 野 直太郎	2 位	
	男子 50m 自由形	Z 4	松 山 慎太郎	1 位	
	男子 100m 背泳ぎ	Z 4	松 山 慎太郎	1 位	
	男子 200m バタフライ	C 2	神 偉 晴	1 位	
	男子 200m 個人メドレー	C 2	神 偉 晴	3 位	
男子 200m 平泳ぎ	Z 2	奥 谷 航 大	2 位		
男子 100m 平泳ぎ	Z 2	奥 谷 航 大	3 位		



バレーボール 男子 第1位



卓球 女子 優勝



陸上競技 女子 総合優勝

「保護者の声」設置について

保護者と学校の連携を密にし、よりよい教育を推進するため、下記のとおり「保護者の声」を設置しております。

お子さんの就学上のこと、学校に対する要望、ご意見など、無記名で結構ですので、郵便・電話・FAX・e-mail等で随時下記の連絡先までお寄せください。

《連絡先》

戸工業高等専門学校 総務課総務係

TEL 0178-27-7223 FAX 0178-27-9379

e-mail:somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

授業料等の納付について

後期分授業料の口座振替を、10月26日(水)に行います。(就学支援金額未決定者、授業料免除申請者を除く)

寮生は、10月～3月の寄宿料及び学寮運営費も併せて振替になります。

金額を確認のうえ、振替日前日までに届出口座にご準備ください。

単位：円

授業料		寄宿料		学寮運営費		振替手数料
1～3年	4年～	複数室	個室	一般寮	混住型国際寮	
117,300	117,300※2	4,200	4,800	92,800※3	119,900※3	68
57,900※1						

※1 就学支援金受給対象者の例(加算支給なしの場合)

※2 授業料免除申請者(高等教育の修学支援新制度を含む)は、免除決定額に応じて減額・免除となります。

※3 学寮運営費の金額は変更となる可能性があります。

授業料等を期日(前期分9月、後期分3月)までに納付しない者は、授業料等未納により除籍などの処分になる場合がありますので、ご注意ください。

【問い合わせ先】

総務課財務係 TEL 0178-27-7228

学生課学生係からのお知らせ

令和2年4月から実施された高等教育の修学支援新制度に本校も対象となっております。本科4年生以上の学ぶ意欲がある学生で、家計の収入等の要件を満たす場合には、支援区分に応じて、入学金及び授業料の減免と給付奨学金による経済的支援を受けることができます。

秋頃に日本学生支援機構が二次採用を行う予定となっておりますので、日程等の詳細が分かりまし

たら学校HPや学生掲示板等で周知しますのでご確認をお願いいたします。

また、現在申請可能な奨学金等の各種経済支援につきましても学校HPや学生掲示板等で随時更新しておりますので、併せてご確認をお願いいたします。

【各種経済支援関係問い合わせ先】

学生課学生係 TEL 0178-27-7235

令和4年度 公開講座

- ロケットはなぜ飛ぶか
～PETボトルロケットコンテスト～
日 時：7月23日(土)
対 象：小学生、中学生
(小学校3年生以下は保護者同伴)
- ペーパーブリッジをつくろう
日 時：7月30日(土)
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- 建築模型をつくる
日 時：8月20日(土)
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- 水の浄化実験
日 時：8月27日(土)
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- メカnoワールド体験塾 Aコース
日 時：10月8日(土)
対 象：中学生、中学校教員
- 化学の学校
～マテリアル・バイオ工学の世界へようこそ！～
日 時：10月15日(土)、10月16日(日)
対 象：小・中学生、保護者、小・中学校教員
- メカnoワールド体験塾 Bコース
日 時：11月5日(土)
対 象：中学生、中学校教員
- まちなか文化祭
日 時：12月17日(土)
対 象：一般市民

※参加人数等により、中止または内容等を変更する場合があります。